

8.20 広島八木災害報告（第 112 報）

2018.1.11

明けましておめでとうございます。

成年の今年は、国の内外共に不安定な要素がたくさんあり、先行きが心配されます。国内については、少子化の進展でしょう。地域の小児人口はどんどんと減少してきて、幼稚園は、ほぼ定員不足に陥っています。一方では、働く女性が多くなって、交通の便の良い保育園では、入所待ちが続いています。

8.20 災害の被災地である、八木 3 丁目周辺では、昨年末に「土砂災害警戒区域」の見直しの通達が出ました。私の住んでいる自宅は、依然として危険区域で赤線の中に入っています。いつになったら、安心して住むことができるのでしょうか。

1 月 1 日、桑原医院は安佐医師会の救急当番診療所に指定されました。医師 3 名、看護師 2 名、事務員 5 名の総動員で元旦の 8 時 30 から 19 時 30 分まで 111 名の患者さんを診療しました。その中の約 70%はインフルエンザ A 型と B 型でした。中で 1 名、呼吸不全の乳児については、救急車をお願いして、広島市民病院に医師同乗搬送をしました。医院職員の心のこもった診療で、元旦の患者さんたちには大変喜んで頂きました。

1 月 6 日、安佐医師会の富士川游記念講演会を市内で開きました。講師は、広島文化学園大学副学長の佐々木秀美先生でした。富士川游先生の膨大な著書の中から、宗教・科学・医術論について要領よくまとめてお話を頂き、約 90 名の聴衆は身の引き締まる思いで拝聴しました。

その後、安佐医師会の新年互礼会があり、市長さんも参加されて、にぎやかな会となりました。

1 月 7 日、8.20 災害で 12 名の死亡者を出した上楽地部落の新年宴会があり、久しぶりに出席しました。新年の楽しい挨拶の中にも、3 年半前の被災の話が、混じって出てきます。常連の参加者が災害関連で欠けてしまって寂しい限りです。

1 月 8 日、広島県医師会の新年互礼会が市内でありました。県知事さん、市長さん、国会議員さん、県議会議員さん、市議会議員さんもそろった、にぎやかな互礼会になりました。

今年も、広島の人たちにとって、良い年でありますように。

2018.1.11.10 時

桑原医院 桑原正彦